

# 食品安全委員会事務局内緊急時対応事務処理要領の 改正点概要(案)

## ①迅速な情報提供内容作成のための手順改正

緊急事態等に提供する情報については、可能な限り手順を共通化。また、関係者が参集して協議することを最優先の手順として明文化。事案や危害ごとに最低限必要な連絡先をリスト化(非公開)。

## ②情報提供形式の再整理

現在、事務処理要領に記載している情報提供形式を再整理。平常時に提供する情報との区分、記載がない情報提供形式を新たに位置付け。

## ③ホームページ掲載マニュアルの添付

緊急時対応事務処理要領の別冊(非公開)として、ホームページ掲載マニュアルを作成。

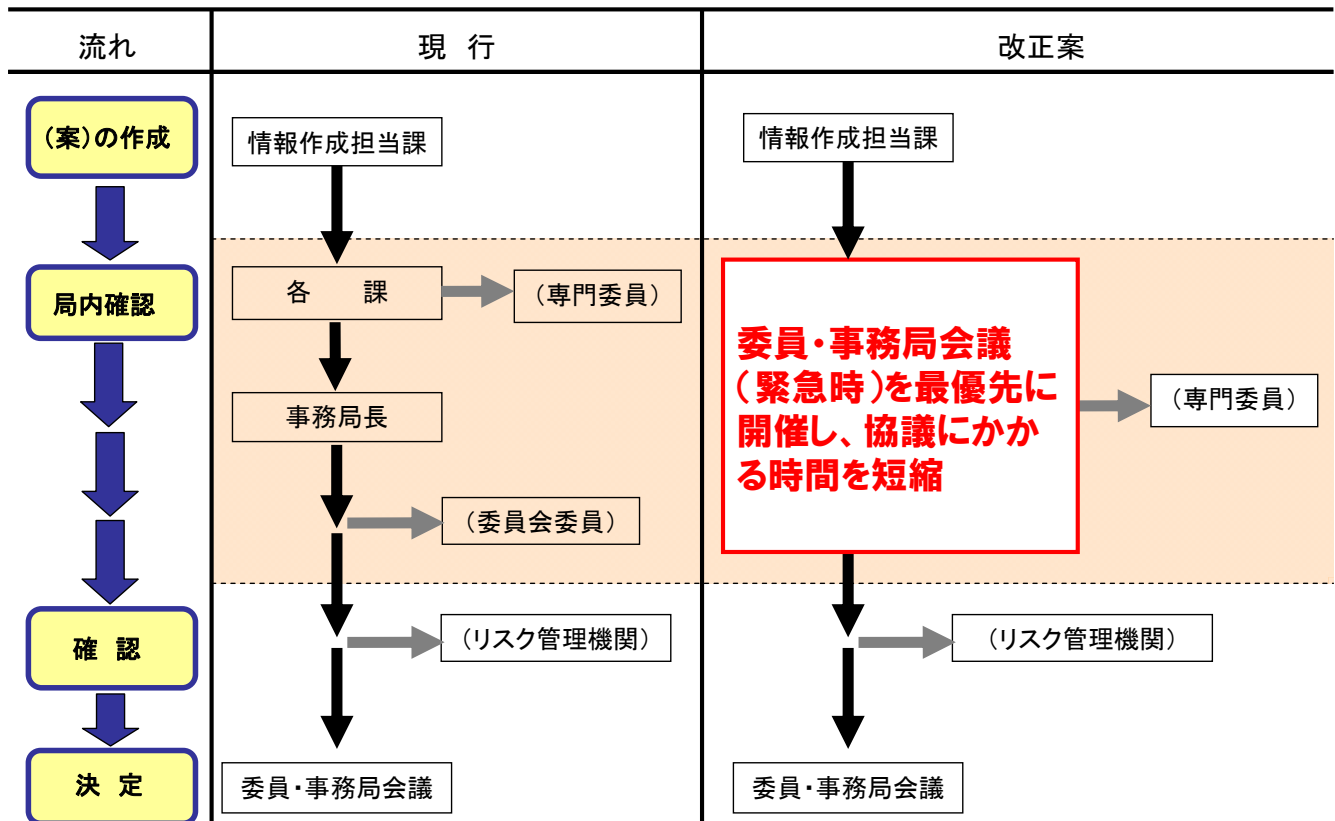
## ④プレスリリース、会見の実施手順に関する事項の充実

プレスリリースや会見の実施についてフロー図やチェックリストを活用して手順を明確化。また、作成する関連資料ひな型の改善。

## 迅速な情報提供内容作成のための手順改正イメージ

### (例)Q&A作成の場合

→ 手順  
→ 必要に応じ実施



## — 食品安全委員会から国民のみなさまへ — X国産〔農産物α〕からカドミウムが検出された 事案について

高濃度のカドミウムが〔農産物α〕から検出されましたが今回の事案による健康影響は想定されません。冷静に対応して下さい。

- ・ X国での汚染対策は引き続き注視が必要です。
- ・ 現在、業者による自主回収が進められていますが、万一お手元に対象製品がある場合は、販売店等に連絡し早期回収に御協力下さい。
- ・ カドミウムによる健康影響はまず腎臓に現れ、尿中の低分子量のタンパクの排せつ量が増加します。ただし、一時的に高用量のカドミウムを摂取したからと言って、直ちに健康被害が起こるとは考えられませので、冷静に対応してください。

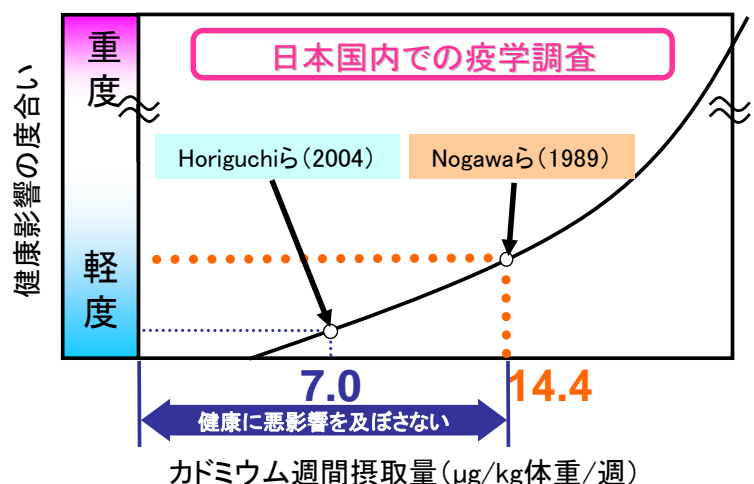
## カドミウムによる健康影響

- ・ カドミウムについては、食品安全委員会が健康影響評価をしています。
- ・ カドミウムの毒性は、

**耐容週間摂取量(7 $\mu$ g/kg体重/週)**で表されます。

- ・ 耐容週間摂取量は、ヒトが一生涯食べ続けても健康に悪影響が出ない量です。

カドミウムの健康影響と摂取量イメージ



## X国産〔農産物 $\alpha$ 〕からの カドミウムの推定摂取量

1ppm(mg/kg)のカドミウムを含む〔農産物 $\alpha$ 〕  
を1日100g(0.1kg)、1週間食べた場合・・・

日本人の平均的体重を53.3kgと仮定して計算  
すると体重1kg当たりの週間摂取量は  
 $1\text{mg/kg} \times 0.1\text{kg} \times 7\text{日間} \div 53.3\text{kg}$ 体重  
 $\approx 13.1\mu\text{g/kg}$ 体重/週

耐容週間摂取量（ $7\mu\text{g/kg}$ 体重/週）を超過します。  
しかし、冷静に、この数字の意味を考えることが必  
要です。

今回の事案による健康影響は想定されません。

- ・ **耐容週間摂取量（ $7\mu\text{g/kg}$ 体重/週）は、一生涯食べ続けても健康に悪影響の出ない量です。**
- ・ カドミウムの急性毒性は低く、また食べたカドミウム量のほとんどはそのまま体外に排出されます。
- ・ X国産〔農産物 $\alpha$ 〕やその加工品は輸入・販売を中止していること、また業者による自主回収が進められていることから、ずっとこの〔農産物 $\alpha$ 〕を食べ続けるわけではありません。
- ・ 例え、一時的に耐容週間摂取量を超えたとしても、今回の事案のレベルでは健康に悪影響は出ないと考えられます。



プレスリリース

平成21年3月3日  
内閣府食品安全委員会事務局

## カドミウムが検出された×国産 [農産物 α] による健康影響について

カドミウムが検出された×国産[農産物 α]については、現在既に輸入の停止や国内流通品の回収が行われています。

本日 11 時に厚生労働省により、同国産[農産物 α]から最大 1 mg/kg(ppm<sup>(※1)</sup>)のカドミウムが検出され、その一部は国内で既に消費された旨、記者発表されたところです。

今回の事案に対するカドミウムのヒトへの健康影響に関する食品安全委員会の見解及びそれに至った理由は以下のとおりです。

(※1) ppm: 「100万分の1」を表す単位。今回の事案では、1 kg の[農産物 α]に 0.000001kg のカドミウムが含まれていることを示します。

### 食品安全委員会から国民のみなさまへ

×国から輸入された[農産物 α]から高濃度のカドミウムが検出されましたが今回の事案による健康影響は想定されませんので、冷静に対応してください。

1 カドミウムについては、食品安全委員会が健康影響評価を行い（平成20年7月）、**耐受週間摂取量（TWI）**（※2）を7μg/kg 体重/週と定めています。

(※2) 耐受週間摂取量: ヒトが一生摂取し続けても、健康への悪影響がないと推定される量で、1週間あたりの量で表されます。

**コメント [MSOffice1]:**

一般的には馴染みのない単位の説明を入れる。この場合、「100万分の1」など、「ppm」がどの程度小さいことを示すのか、できるだけイメージしやすい言葉を使って説明。

**コメント [MSOffice2]:**

伝えたいメッセージを目立つように記載。

**コメント [MSOffice3]:**

専門用語の説明

## 訓練

2 今回の事案のレベルでは、一時的に耐容週間摂取量を超えたとしても、次の理由から健康に悪影響は出ないと考えられます。

- ① カドミウムの急性毒性は低く、また食べたカドミウム量のほとんどはそのまま体外に排出されます。
- ② X国産[農産物 α]やその加工品は輸入・販売を中止していること、業者による自主回収が進められていることから、ずっとこの[農産物 α]を食べ続けるわけではありません。

【参考：今回の事案におけるカドミウムの体重 1kg あたり週間摂取量試算例】  
今回検出されたカドミウムの最大濃度 1ppm<sup>(※2)</sup> (mg/kg) を含む[農産物 α]を、体重 53.3kg (日本人平均体重) のヒトが、毎日 100g(0.1kg) 1週間食べ続けたと仮定して、体重 1kg あたり週間摂取量を計算すると、  
 $1 \text{ mg/kg} \times 0.1 \text{ kg} \times 7 \text{ 日間} \div 53.3 \text{ kg 体重} = 13.1 \mu\text{g/kg 体重/週}$

3 現在、業者による自主回収が進められています。国民の皆様には、冷静に対応いただき、万一お手元に対象製品がある場合は、販売店等に連絡し早期回収に御協力ください。

コメント [MSOffice4]:  
結論を最初に。その後、その理由を簡潔に記載。

コメント [MSOffice5]:  
「冷静な対応」について、具体的な行動を示して、再度メッセージを伝達。

### 【本件連絡先】

内閣府食品安全委員会事務局  
勧告広報課 ●●●●  
電話：03-5251-9 1 ××又は 9 1 △△

### 【健康影響に関する専門用語等の問合せ先】

内閣府食品安全委員会事務局  
評価課 ＊＊＊＊  
電話：03-5251-9 1 ◆◆

コメント [MSOffice6]:  
必要に応じ、専門的な用語に関する連絡窓口を記載。